

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

Quality of Life 全ての人に質の高い生活を!!

待機児童数
2,567人放課後児童待機児童数
17,686人精神障がい者数
600万人以上外国人労働者数予測
93万人

② 中長期の経営戦略

1. インクルーシブ保育の実践

国籍・障がいの有無に関わらず同じ空間で生活教育を行い、児童発達支援事業所や訪問支援事業所の併設・展開で切れ目のないサービスを提供

3. 保育事業の差別化強化

英語・リトミック・体操など地域ニーズに合わせた無料プログラム、給食品質こだわり、職員研修充実、ドミナント戦略で地域信頼構築

2. 採用コストの最大効率化

保育・介護・人材派遣事業のグループ連携で職員キャリア転換を支援し、人材確保・定着による採用コストメリット最大化

4. 介護福祉事業の多種展開

訪問介護・看護・障がい者グループホーム等で0～100歳以上のライフステージ対応サービス提供、ドミナント戦略で地域信頼確保

③ 対処すべき課題

① サービス品質の維持向上

- ・事業所数増加に伴い全施設で品質低下を防ぐ
- ・施設改善とスタッフ教育研修の強化

② 人材確保・育成

- ・優秀人材の採用と育成が成長に必要不可欠
- ・魅力ある職場環境整備と人事制度改革
- ・超過勤務削減で従業員健康維持

③ 多様ニーズへの対応

- ・企業主導型・民間委託保育所の開設拡大
- ・障がい者グループホーム・訪問看護事業所増設

面接で使えるポイント

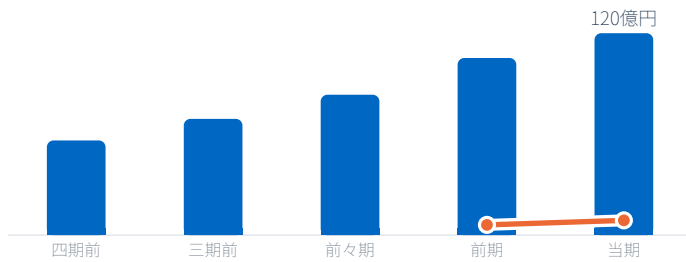
- ・首都圏と近畿圏で全待機児童の72.9%を占める中、STEAM教育や無料プログラムで地域ニーズに応える保育事業の成長戦略
- ・訪問看護サービス量が2023～2040年で27%増加見込みの中、0～100歳のライフステージ対応で介護福祉事業を展開
- ・外国人労働者が2019年42万人から2040年93万人に増加する見込みの中...

株式会社Q L Sホールディングス

サービス業 | グロース（内国株式） | 決算期 3月31日 | ...

証券コード 7075

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

大阪に本社を置く純粋持株会社で、5つの子会社と非連結子会社1社を傘下に持つ企業グ

主力事業・セグメント

・サービス業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・将来性評価は晴れ

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
120億円

営業利益率
7.3%

財務健康度
43点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 35.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
356万円

サービス業内 519位/524社

平均年齢
32.7歳

サービス業内 462位/527社

平均勤続
4.4年

サービス業内 370位/527社

女性管理職
25.0%

サービス業内 127位/371社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: Q L Sホールディングス[7075]: 資本金の額の減少（減資）

株式会社Q L Sホールディングス 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyo-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

